

政策体系コード	03 - 04 - 01
施策名	雇用環境の向上

政策統括監
商工部長

◆総合計画での位置づけ

政策	ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり
基本施策	地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上
施策	雇用環境の向上

◆総合戦略での位置づけ

基本目標	北上で出会い、安心して子どもを産み育てられる「まち」を創る
施策	若い世代の結婚の希望をかなえる安定就労と出会いの創出
基本目標	北上との縁やつながり、地域資源を活かし、ひとの交流を生み出す「まち」を創る
施策	女性や若者を中心としたU・Iターンの促進

◆総合計画基本計画における施策の方針

公共職業安定所や北上雇用対策協議会と連携を図り、的確な雇用状況を把握し、求職及び求人の両面から支援するとともに、当地域に就職を希望する高校新卒者等若年者を支援し、地元への定着を図ります。

◆市民意識調査結果（H28年度実施）基本施策単位のアンケート

設問
説明

「地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上」についてうかがいます。

農林業や商工業、観光などの地域産業の担い手の育成に努めるとともに、働きやすい良好な就労環境の整備を促進します。

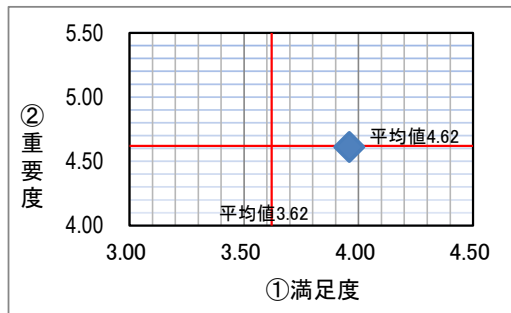
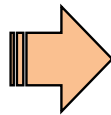
事業例

・就職ガイダンス、ジョブカフェさくらの運営など就職を支援する事業を行いました

・子ども創造塾、工業匠祭など、ものづくりへの関心を高めるイベントを行いました

・青年就農者に対し年間150万円を最長5年給付する事業を行いました

調査項目	算出値	順位
①満足度	3.96	16 /30
②重要度	4.61	13 /30
③優先度	13.50	9 /30
④改善重要度	0.65	14 /30



上記調査の満足度に関する主な理由（自由記述）

雇用環境が良くない、不満がある。
学生への支援やアプローチが必要。
ジョブカフェは不要。ハローワークと重複している。
正規雇用の拡大を推進してほしい。
大卒新卒の若い人が求める仕事は市内には少ない。

◆施策の成果達成状況

施策における成果の定義		一般求職者、高校生などの若者、女性、障がい者など就労意欲のある多様な働き手が、就業に至るまでの様々な機会を利用し求人事業所とのマッチングが図られ、北上市内で安心して働き続けることができる。						
No.	指標名	指標に関する説明 (把握方法・算定式・単位等)	指標の実績値			目標値(下段:達成率)		指標 重要度
			H26 (基準年度)	H27	H28	中間目標 (H30)	最終目標 (H32)	
1	北上管内新卒者の当市及び近隣市町への就職内定率	北上管内新規高卒者の就職者数に占める北上・花巻・水沢公共職業安定所管内への就職内定率(括弧内は北上市内新卒者の北上市内への内定率)	57.3% (37.6%)	55.2% (42.3%)	58.0% (42.3%)	60.0%	60.0%	40%
						—	—	
2	北上市無料職業紹介マッチング数	実数把握	1件	0件	0件	10件	10件	10%
						△11.1%	△11.1%	
3	市内企業の障がい者雇用率	雇用する障がい者の数÷雇用する常用労働者の数	1.60%	1.64%	1.78%	1.80%	2.00%	10%
						—	—	
4	北上公共職業安定所新卒者(高卒者)自所受求人数	北上公共職業安定所公表数値	486人	594人	594人	400人	400人	40%
						[148.5%]	[148.5%]	
5								%
6								%

※印の指標は総合計画(基本計画)に記載していないもの。

◆成果達成状況の分析

単年度の達成状況	1.順調
	● 2.概ね順調
	3.遅れている

最終年度の達成状況	1.順調
	● 2.概ね順調
	3.やや遅れている
	4.遅れている

理由(上段:指標に基づくもの、下段:その他)
新卒者の当市及び近隣市町への就職内定率は目標値に向かい増加傾向にある。北上公共職業安定所自所受求人数も活発な企業活動を受け、増加している。
当市及び近隣市町への新卒者の就職内定率は前年より増加したものの、求人を充足する水準には達していない。 ※指標の設定時と現在で雇用情勢が変化しているため、指標に含まれない新たな課題等への対応については下記に「指標以外のもの」として別に記載する。

◆コストの把握

(単位:千円)

投入コスト	種 類	H26	H27	H28
	直接事業費(a)	24,824	19,638	17,086
	人件費(b)	19,825	19,459	23,503
	公債費・減価償却費等(c)	8,377	8,057	7,746
	フルコスト(a+b+c)	53,026	47,154	48,335
	うち「業務」事業費	11,543	9,550	9,882
	うち「政策」事業費	41,483	37,604	38,453

◆成果達成状況の要因考察

外部環境(市を取り巻く環境の要因: 市民ニーズ、社会経済情勢等の視点)	内部要因(施策実施過程の要因: 財務、職員、組織等の視点)
①新規高卒者の内定率は6年連続で100%を達成し、就職希望者が確実に就職につながっている。	①北上雇用対策協議会や北上公共職業安定所と連携し、企業ガイダンスや情報交換会を開催することで、学校・学生側へ管内企業の理解促進と地元定着を働きかけている。
②復興需要を含め、景気は安定的に推移してきており、企業活動は全般的に活発で企業の採用意欲も高い。	②無料職業紹介については、マッチングのためのサイトを運営しているが、積極的な職業あっせんを行うことができていないため、マッチングには結びついていない状況が続いている。
	③北上市、西和賀町、北上商工会議所の負担で運営されている北上雇用対策協議会の事務局を課員が兼務し、雇用対策全般の業務にあたっている。
	④北上雇用対策協議会内に人材確保コーディネーターを1名配置し、インターンシップの強化など人材確保のための取り組みを行った。

◆現在の課題

①通勤圏内に6割近い高卒者が就職しており一定の地元定着が図られているものの、北上公共職業安定所管内の就職率は未だ県内他地域に比べ低く、目標達成のためには、更なる地元企業への理解促進が必要となっている。
②少子化の進行により恒常的な人手不足が続いており、求人が充足されていない。
③北上地域の企業情報の周知・PRが不足しており、市外からの人材受入が進んでいない。

◆今後の展望(施策展開、事務事業の見直し等)

①管内の高校生に対し、学校の間を活用した管内事業所の理解促進の取り組みを強化する。
②新卒者の早期の離職防止と地域経済を担う就業者のスキルアップを図るため、企業向けの人材育成セミナーを強化する。
③ジョブカフェさくらの運営については、若年層の未就職者や中高年の就業支援、子育て中の女性の復職支援など、求職者の掘り起こしを強化し、事業所の人材確保・定着を支援する。
④インターンシップ受入事業所の開拓と受入プログラムを継続して行うとともに、インターンシップに係る交通費助成の周知を強化し、大学生の管内への取り込みを図る。
⑤県内の高校生に対し、北上市の企業情報を提供することにより市内企業への就職者を増加させ、県外への人材流出の抑制を図る。
⑥地域内だけでの人材確保が困難なことから、首都圏等から人材を呼び込むため、採用試験に係る交通費や引っ越し費用を助成する女性UIターン定住促進事業を展開する。

事務事業名称 （評価事業）	会計 区分	事業 区分	担当課	フルコスト （千円）	事後評価結果		貢献度
					目標達成状況	方向性	
北上高等職業訓練校管理運営事業	一般	業務	工業振興課	9,882	－	－	－
雇用対策事務	一般	政策	工業振興課	8,943	概ね順調	維持	低
北上地域人材確保定着サポート事業	一般	政策	工業振興課	11,386	概ね順調	維持	高
大学生等インターンシップ強化事業	一般	政策	工業振興課	4,627	順調	維持	中
女性UIターン定住促進事業	一般	政策	工業振興課	2,520	概ね順調	維持	中
北上雇用対策協議会負担金	一般	政策	工業振興課	8,832	概ね順調	維持	高
地元就業支援奨学金返還減免事業	一般	政策	教育部総務課	2,145	概ね順調	維持	低
合　　計				48,335	(千円)		

の5つの視点で評価します。

事務事業は適切に構成されている